

明治創業の材木商の古民家を、現代アート、工芸ギャラリー 一が手掛けた、一日一組限定の一棟貸しの宿「MARUYO HOTEL Semba」開業

～伊勢の玄関口三重県桑名市に、現代アートと古美術、工芸の融合する古くて新しい宿～

MIWA Holdings株式会社(本社:東京都港区、代表取締役:佐藤武司、以下「MIWA」)とGallery NAO MASAKI(本社:愛知県名古屋市、代表取締役:正木なお、以下「GNM」)は、伊勢の玄関口である桑名市船馬町に「MARUYO HOTEL(マルヨホテル)semba」を一日一組限定の宿として開業いたしましたことをご報告いたします。

MARUYO HOTEL Semba

明治創業「丸与木材」の築70年超の本家をリノベート。1階には、ラウンジ、それぞれに趣の異なるツインルーム(バスルーム付)が2部屋、露天風呂。2階には、揖斐川と住吉神社を臨む広々とした大広間。伊勢の玄関口の面影を感じながら時を刻む、一日一組限定(現在は4名様まで)の一棟貸ホテルです。インテリア・デザイン、アートのディレクションは名古屋で現代アート、工芸のギャラリーを15年営む正木なおが監修。具体の堀尾貞治氏の作品や、江戸時代の杉戸絵、城所右文次のバンブーチェアなど、MARUYO HOTELは、現代アートとアンティークの融合からできあがっています。また三重県の著名な作家である内田鋼一氏のカップや、世界のコレクターが憧れる飯塚琅玕斎の竹籠など、今と過去、アートと工芸、古美術が絶妙なバランスで融合した、時間と空間となっています。





伊勢の玄関口、桑名

江戸時代、東海道で唯一の海上路である「七里の渡し」のあった桑名市船馬町。20年に一度の伊勢の式年遷宮でも建替られる「伊勢の一の鳥居」があり、名古屋からの舟旅は危険と隣り合わせだったため、禊をするのと同じと考えられたのではないのでしょうか。一の鳥居をくぐることで神の国に入つたと、多くの旅人は感じたに違いありません。また、桑名は、木曾三川の重なる場所で、流通の拠点として大きく繁栄しました。戦前までは米相場も置かれ、一夜にしてお大尽になる実業家が多く現れ、料亭、花街も発展し、芸者は最盛期には200人を超え、120もの数の旅籠があったとも言われています。

明治から令和へ、引き継がれる材木商の本家

第二次大戦で桑名は大空襲を受け、あたり一面は焼け野原となり、丸与木材の本家も消失しました。戦後、資源がない中で懸命に木材をあつめ、近隣でいち早く復興の証として再建したのが現在のMARUYO HOTELとなる建物です。令和になり空家となっていたこの建物を見て、引き継いだのが、丸与木材創業者の玄孫(やしやご)となるMIWA Holdingsの代表の佐藤武司です。武司は、フランス・パリでは日本の文化を伝える会員制サロン『[Pavillion MIWA](#)』を、京都では築70年の古民家をリノ

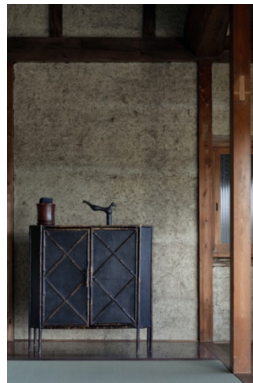
バージョンした一棟貸しの宿泊施設『[The Lodge MIWA](#)』を手掛けてきています。海外からの視点で、家族と地域の歴史と文化を、そして現在と過去の繋がりを紐解くようにして、創業期から伝わる「丸与」という商号とロゴを引き継ぎ、MARUYO HOTELを誕生させました。



Lounge & Dining room

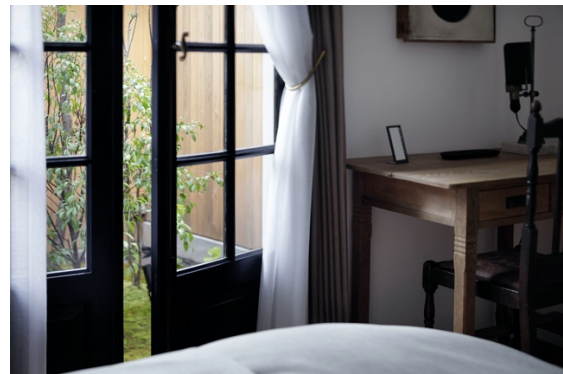
1階のラウンジは、土壁に包まれながら読書やティータイムが楽しめる空間として。2階のダイニングルームは、語らいやお食事の場としてお使いいただけます。眼前に広がる川沿いの景色を眺めていると、過ぎし日の旅人たちの往来の風景が浮かび上がり、タイムスリップしたような感覚を覚えます。この家が建てられた当時のままの土の荒壁は、70余年もの歳月を醸し出しているよう。この場所にたゆたう悠久の時の流れと情景をお楽しみください。





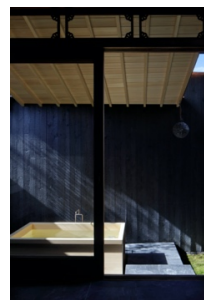
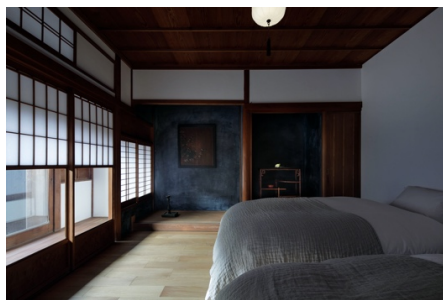
客室[room 0]

MARUYO HOTELの近隣にある明治時代の洋館・六華苑は、鹿鳴館を設計したことで有名なジョサイア・コンドル作。コンドルをオマージュした洋室は、漆喰の白壁と瀟洒なインテリアが居心地の良さをつくりだしています。夜になり大門を閉じると、仏蘭西のアンティークガラス戸越しにプライベートガーデンが現れ、ゲストの眼に美しく映える空間となります。



客室[room 1]

夜空のように青みがかった黒漆喰の床の間が印象的な主寝室。視点を庭に転じると、雪見障子越しに見える坪庭の苔が黒塀に映え、洗面室から緩やかにつながる戸外には桧の露天風呂が。夜は月明かりに美しく照らされ、朝は爽やかな空を眺める贅沢な時間。夜と昼、2つの顔が存分に愉しめる空間には、穏やかでありながら非日常の時間が流れます。



作りたてを大切にしたシンプルな朝食

搾りたてのオレンジジュースや、挽きたてのコーヒー、焼き立てのクロワッサンなど、桑名の素材を取り入れ、丁寧に提供しています。2階のダイニングで朝の気持ちいい風を感じながらご賞味ください。



蛤鍋の名店「日の出」や、一つ星のフレンチ「壺中天」などでの夕食セットプラン

MARUYO HOTELは、片泊まり(朝食のみ付)の宿で、夕食はございません。徒歩圏内には蛤鍋の「日の出」や、松坂牛すき焼きの「柿安」など有名な料亭が多くあることで知られています。隣接する名古屋までは車で30分なので、一つ星のフレンチ「壺中天」などのレストランでのご夕食をセットにしたプランもご案内しております。

名古屋から桑名までの船旅プラン

江戸時代さながら、名古屋の熱田から、桑名まで「七里の渡し」を船でわたるクルーズプランもございます。海から入る桑名の景色は、水路が多く、ヴェニスを彷彿とさせられます。

歴史と伝統が息づく伊勢の玄関口、三重県桑名市船馬町にて、皆様のお越しをスタッフ一同お待ちしております。

■「MARUYO HOTEL Semba」

【アクセス】名古屋駅から桑名駅まで近鉄特急にて16分

桑名駅からタクシーにて5分

【所在地】〒511-0011 三重県桑名市船馬町 23

【客室数】

計2室(1棟貸し 120㎡) 1~4名ご利用可

駐車場完備

<https://www.maruyohotel.com>

【宿泊に関するお問い合わせ先】

電話番号 090-2773-0004/ Email: info@maruyohotel.com

【運営、企画】MIWA Holdings 株式会社

【設計・空間プロデュース】Gallery NAO MASAKI

【施工】合同会社相良工務所 相良昌義・白木建設株式会社

【写真】ad hoc inc.志摩大輔

■ MIWA Holdings株式会社(日) / MIWA Associates SAS(仏)

佐藤武司が代表を務める日仏ブランドコンサルティングの企業体。フランスパリ・サンジェルマンにて2012年10月Pavilion MIWAをオープン。物を販売するのではなく、折形のセレモニーや花会などを行い、感性的な体験を通じて日本のセンシビリティを感じてもらえるプログラムを提供している。顧客はラグジュアリーブランド、老舗宝飾創業家、アルコールメーカーなどフランスのトップ企業。あるフランス企業と協業によって新ブランドの立ち上げを三年間にわたり行う。2018年12月には、一日一組限定の宿The Lodge MIWAを京都「北山」の小さな村にオープン。夜になると庭には鹿が現れ、日本の原風景が広がり、ヨーロッパの方々が移住するように数日間泊まる施設をつくる。

URL : <https://www.miwa.net>

■ Gallery NAO MASAKI

正木なおが代表を務める現代アート、工芸ギャラリー。名古屋市にて15年前に開廊、今までに開催した展覧会は約130回を数える。昨年は国際的な「アートフェア東京」に出展。内田鋼一氏など中部地区の作家だけでなく、海外の作家とのつながりも深く、来年はベルギーのアートフェアBRAFA2021に出展予定。

URL : <https://www.naomasaki.jp>

■ 合同会社相良工務所 相良昌義

千葉県市川市の高校卒業後、大工である父の手伝いを始める。大工仕事の基本は身についたものの、より極めたいと思い、20歳でつてもなく京都へ。タウンページで最初に見つけた社寺建築を行う細見工務所に宮大工の弟子入りをする。三田市九鬼邸修復(重要文化財)、宝塚市清荒神清澄寺、兵庫県大円寺の修理などに参加する。25歳、数寄屋建築の名門中村外二工務店に職人として入り、旅館俵屋、料亭和久傳、料亭菊乃井などの修理から、京都迎賓館の新築工事などを手がける。30歳、二級建築士事務所を立ち上げ独立。

URL : <https://www.sagaramasayoshi.com/>

■ 白木建設株式会社

岐阜県本巣市にある社寺、木造建築専門の建築会社。曳き家、社寺の改修、新築などの工事を手掛け、宮大工を擁し、近年はパークハイアット京都などを手掛ける。

URL : <http://www.shirakikk.com>

■ ad hoc inc. 志摩大輔

Photographer 大学卒業後、建築写真の名門ナカサ&パートナーズに入社。10年間務めて、2016年に独立。

URL : <http://adhocfoto.jp>